

日刊 動労千葉

85. 11. 25
No. 2098

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二七二七〇七

国鉄千葉動力車労働組合

宣情-駅集-地域、徹貫スト

5千万署名達成

五千万署名運動は、県下で急速に進展している。職場生産点からの怒りのストライキ決起を背景にした動労千葉がその中心となつて着々と成果を拡大している。全員が「一人百名」獲得の早期達成へ断固つき進もう。

「スト貫徹」と結合し、署名—宣伝を全力でやりぬこう

五千万人署名の十一月十九日現在の動労千葉の集約数は、総計六三四五五名で目標の約六〇％である。各支部ごとの集約数を見ると、木更津、館山が目標を達成、銚子が八〇％、成田・千葉転が七〇％以上、勝浦が六五％、新小岩・幕張が五〇％、津田沼四〇％、佐倉が十四％と大きくばらつきがある。

スト貫徹、「分割・民営化」への怒りをこめ、「一人百名」獲得へ、地区統一行動に積極的に参加するなど、可能な限り早く集め切るため全力をあげよう。

動労「本部」の署名運動妨害許さず目標達成へ！

五千万署名の全国集約（十八道府県）は、十一月十八日現在、五七一四五六一

名、福岡・熊本県で目標の一〇〇％以上を達成しているものの、最大の票田である東京を中心に動労「本部」革マルの策動（民営化反対を下ろせ）で取り組みがおくれ、結局、全国的集約が大きくおくれる結果をもたらしている。

「分割・民営化」に賛成し、中曽根・杉浦と一体となり、五千万署名を妨害し、国鉄労働運動解体の先兵となりはてている動労「本部」革マルを許さず、十一月二十九ストライキ貫徹、五千万署名達成へつき進もう。

各支部の取り組み状況（11/19現在）

| | 集約数 |
|-------|---------|
| 岩沼 | 6,000名 |
| 小田 | 4,669 |
| 津幕 | 9,300 |
| 千葉 | 8,700 |
| 木更 | 5,400 |
| 館山 | 9,100 |
| 勝浦 | 9,700 |
| 佐倉 | 950 |
| 成田 | 7,500 |
| 銚子 | 3,800 |
| 本部(職) | 440 |
| O B 会 | 896 |
| 合計 | 66,455名 |

スト拠点の誇りにかけて、総武線を必ずやストップさせる

十一月二十一日午後六時から、船橋商工会議所において九五名の組合員・家族・国労・自治労・民間の労働者が参加し、船橋・津田沼地域集会在開催された。

わが手で総武線をぶつ止める

綾部津田沼支部書記長の「十一月二十九動労千葉はストライキに起つ。必ず総武線を止める。全力で闘おう」との開会あいさつで始つた集会で、主催者あいさつに立つた山下支部長は「七・二六答申の十万人首切りは絶対に許せない。十一月二十九津田沼を拠点とする24時間のストをうちぬき、中曽根の攻撃を叩きつぶそう」との断固たる決意を明らかにした。

来賓のあいさつに立つた中江昌夫船

橋市議は「動労千葉のスト決起は、日本労働運動の再生ができるか否かがかかった闘いだ。処分・弾圧をおそれて権利は守れない。政府の無謀な分割・民営化に全国で反対の声がわきおこっている。今こそ、労働者の未来を切り開くため闘おう」と述べられた。

スト決起で分割・民営化の本質をあばく

講演にたつた中野委員長は、「本日支部代表者会議で十一月二十九ストライキ

船橋・津田沼地域集會大成功

の戦術を決定した。津田沼は拠点である。し烈な闘いとなるが必ず貫徹する」と決意を明らかにするとともに、分割・民営化攻撃の本質を鮮明にあげ出し、「われわれが闘いぬいて始めて政府・当局と対等の関係となる。そうやって始めて分割・民営化の本質・矛盾を全社会的にあげ出し、反撃の突破口を切りひらける」と闘いの方向を提起、全体の圧倒的拍手で確認された。

講演のあと、参加された習志野市議の戸張さんより「理不尽な攻撃を許さないという立場から共に闘おう」というあいさつを受け、重見副支部長の閉会あいさつで集会を成功裡に終了した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！